

備中高松城下町かわら版

<http://www.takano.okayama-c.ed.jp/>

第 8 号

平成 17 年 4 月 23 日

発行元
岡山県立
高松農業高校
tel
086-287-3711
fax
086-287-3713



4月17日、足守の近水公園で開催された「青空漫歩」(足守荘主催)に本校吹奏楽部が友情出演しました。当日参加された約300人の方々も春の一日を心から楽しんでくれました。

【朝礼台】

(このコーナーでは、毎回校長の話をお届けしたいと思います。)

「新学年の始まりに当たって」

四月十一日に「百名の新入生を迎え、今年度は五百八十四名で新学期がスタートしました。」「一年の計は元旦にあり」という言葉がありますが、学校は「一年の計は四月にあり」です。新学年に当たり、昨年同様「活気あふれる楽しい学校づくり」を大きな目標に掲げました。

今年度、本校は「新しい教職員の評価システム」の導入試行校になっています。教職員の一人ひとりが自己目標を立て、それを自己申告し、教職員自身が自己目標の進捗状況を管理することにより、教職員の資質能力の向上と学校組織の活性化を図ろうとするものです。生徒・保護者・地域の皆様の期待に応え、信頼される学校の実現を目指したいと考えておりますので、御協力、御支援をよろしくお願い申し上げます。

(校長より)



【歓声】(その1)

原古才・男性・七十一歳

【お知らせ】本年度の本校の教育相談室は、月・木曜日(担当・中川先生)、火曜日(同・小林秀先生)、水・金曜日(同・石山先生の放課後に開いています。また、岡田貴美先生はいつでもフリーで相談に乗ってください。悩みをひとりで抱えていないですか?ひとりで悩まないで、まず「教育相談室」に来てみてください。部屋は一棟2階です。

3月31日(火)
本校の生徒会・農業クラブ・家庭クラブの活動に対して、岡山市立吉備病院から感謝状をいただきました。写真は萩原市長から、感謝状を受け取る、園芸科学科3年の岡本泰治君です。

【雷】信号が変わるまでが長いから気持ちいいからけど、まだ国道を信号無視で渡っている人がいますね。
高松・女性・三十三歳

【木漏れ日】よくお店に来てくれるけれど、おはようとかよく声をかけてくれます。放課後なんか運動を一生懸命した後なんですよ。-ああお腹が空いた-って、本当に高校生らしく可愛らしいです。どの生徒さんも礼儀正しくて気持ちが良いです。
原古才・女性・七十歳

この前、野菜を売りに来られました。新鮮なキウリだったので買いました。雨の日でしたが、にこにこ笑顔で本当にうれしくなりました。
原古才・女性・三十六歳

軟式野球部・4月15・16・17日と春の岡山県高校軟式野球大会がありました。本校野球部は、1回戦落合高校に2対6で破れるも、敗者復活戦で高梁工・成羽・城南高校を4対1で破り、2位決定戦では、吉備北陵を2対1で破り、代表決定戦に進出しました。決定戦では、岡山高校に惜しくも破れ県大会出場は逃しましたが大きな収穫がありました。4月現在、部員25名、夏の大会が楽しみです。

【放課後】生徒の部活動・課外活動のこと
レスリング中国高校大会
県予選で初優勝(写真は金光くん)



倉敷高校・笠岡工業を破り、2戦全勝で団体優勝し、個人でも、横畑翔太くん(農業土木科3年)が、50kg級で優勝、松永壮平くん(生物工学科3年)が55kg級で第3位、大道翔貴くん(農業土木科3年)が60kg級で第2位、青井政樹くん(生物工学科2年)が同

3位、森厚介くん(農業土木科3年)が66kg級第2位、土山正幸くん(畜産科学科2年)が74kg級で第3位、金光正浩くん(園芸科学科3年)が84kgで優勝、安原涼平くん(生物工学科3年)が96kg級で第3位となりました。この結果、各階級2位までが5月7、8日の両日、鳥根県の隠岐島である中国大会に出場します。なお、3月下旬に新潟県で開催された第48回全国高等学校レスリング大会では、金光くん(前出)が第2位になりました。同大会の団体戦は2回戦で優勝した龍ヶ浦高校(茨城県)に破れましたが、1回戦では、大阪市立高校に勝ち、全国大会での初戦を飾りました。写真提供・山陽新聞社

射撃部

○射撃部・3月24・25日愛知県で開かれた全国高校選抜大会に藤田静香さん(畜産科学科3年)、上羽洋一くん(農業土木科3年)が出場し、共に決勝に残り8位に入賞しました。

【職員室】年度末の異動で今年も10人を越える先生が転任され、3人の先生がご退職になられました。けれども、その後、素晴らしい先生方を迎え、本校はまた、一段と活気にあふれています。



【歓声】(その2)

3学期に高松公民館であった「子どもの食と環境を考える会」の豆腐づくり講座のひとつです。

【農場】(その1)
このたび、農業経済科がJASの有機認定ほ場の認定を受け、有機農業を本格的に学ぶことができるようになりました。指導体制も農業経済科の教員7人がJAS法に基づき有機農産物の生産行程管理者及び各付担当者に認定申請しています。



【農場】(その2)

4月3日、10日の2回、本校畜産科学科の6名・小野川千春さん、藤田静香さん、藤森圭子さん、本所真由美さん、森由貴さん、森理絵さん、農業経済科の小出真以さんが

牛窓のペンション「ラハイナ」(動物と泊まれるペンション)で飼育されている羊の毛刈りの体験をしました。オーナーの民さんには、宿泊されている方々と一緒に楽しいイベントになりました。また、来年もお願いします。」と楽しい春の一日でした。

【ホームルーム】「本質を捉える知を養え」東京大学の入江学長の今年の入学式での言葉である。今、日本と隣国との間で領土問題や歴史の問題で関係がぎくしゃくしている。多くの関係者がこのことで腐心している。笑う人がいるかも知れないが小誌編集者も心を痛めている。この問題の本質はどこにあるのか、何か解決の方法はないか?子供の頃、大人たちがけんかをしていたのを見ながら、自分には何もできなかった時の気持ちに似ている。天気なら何れ回復するだろう、こればかりはそう簡単にはいかないだろう。二月二日に死去したヨハネ・パウロ二世ならこの事態を見て何と言っただろう。本質を捉える知が欲しい。